

# 報告事項

- 利用実績
- 安全性向上への取組み
- 落石後の対応
- 人材確保の状況
- お客様サービスの向上
- その他

# 利用実績(4月~12月対比)

単位:千人

	R7年	R1年		R6年	
			増減数		増減数
自社線 (勝山永平寺線 三国芦原線 合計)	<b>2,966</b>	2,704	+262	2,870	+96
フェニックス 田原町ライン (福井鉄道連絡運輸)	<b>116</b>	121	-5	120	-4
合 計	<b>3,082</b>	2,825	+257 (+9.1%)	2,990	+92 (+3.1%)

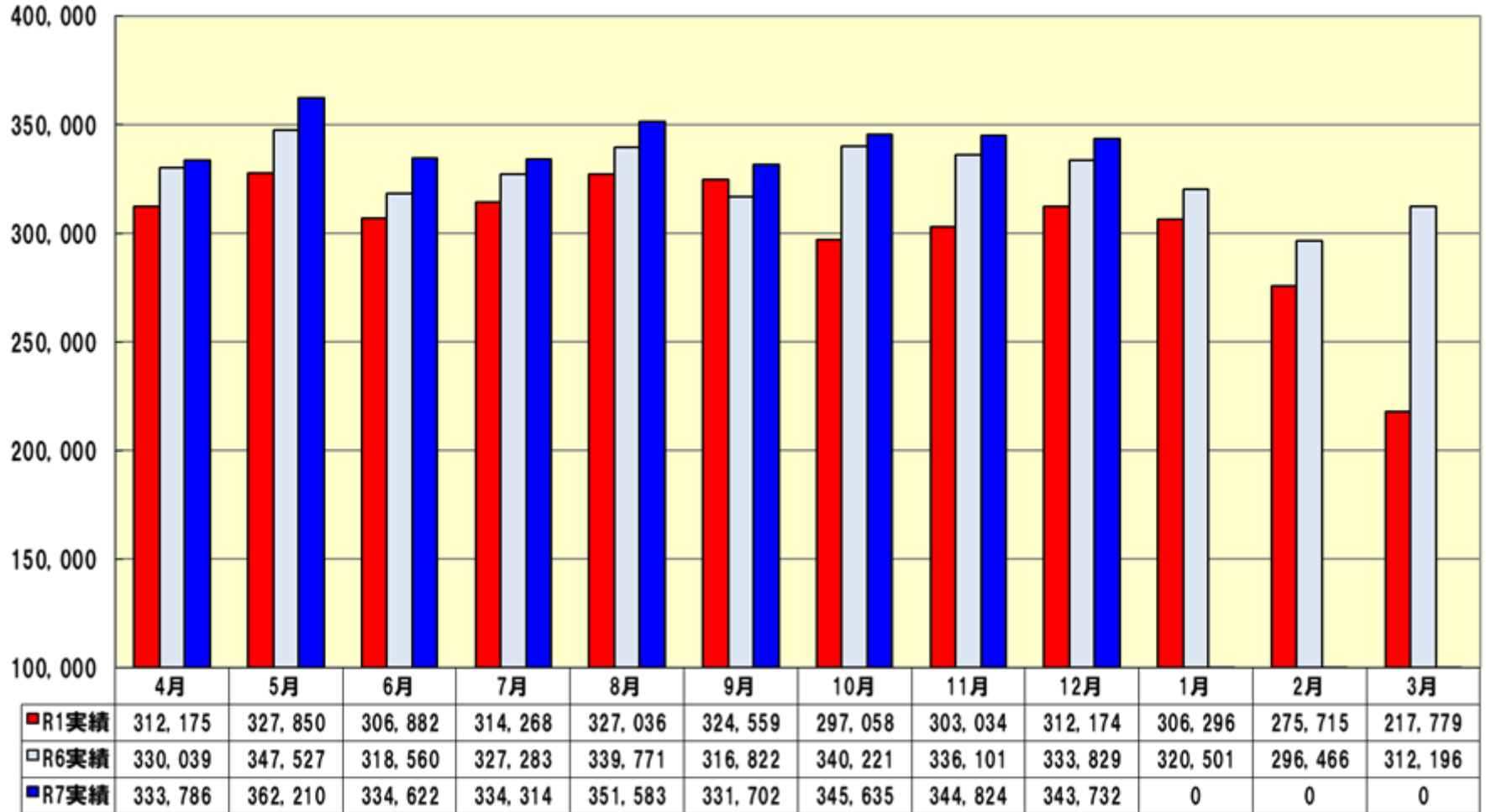
# 券種ごと利用実績とR1年・R6年増減率 (4月～12月対比)

単位：千人

券種	R7年	R1年同期比	R6年同期比
通学定期	1,000	+9.7%	+3.6%
日常 通勤定期	693	+19.5%	+2.1%
回数券	184	-39.8%	-24.1%
非日常(連絡運輸含む)	1,205	+17.3%	+9.3%

# 乗車実績の推移（R1・R6・R7）

単位：人



# 安全性向上への取組み

## □ 踏切道の安全・安心対策

- 老朽化した警報機、遮断機、注意喚起看板の更新
- 非常押しボタン箱を反射型に更新
- 第3種及び第4種については前後の見通し確保のための除草
- 交通安全県民運動期間に合わせ通行車両及び利用者に広報啓発活動



## □ 重大な事故等への対応

- 第10回福井テロ対策パートナーシップ推進会議の一環
- 福井県警察本部及び福井警察署と合同で鉄道テロ対処訓練を実施【訓練想定】
- アテンダントが車内巡回している際、刃物を所持している不審者を発見
- 不審者を制圧後に座席を検証したところ不審物を発見



## □ 鉄道テロに対する教育訓練

- 令和3年に他の鉄道事業者において電車内の乗客が無差別に狙われる事件が相次いだ
- 数年前には当社駅務員が酔客に殴打される
- 輸送機関に人流・物流が集中する年末年始をむかえるにあたり緊急事態を想定した教育訓練を実施



## □ 鉄道運転士の養成



- 運転士不足が続く中、2名が国家試験「動力車操縦者運転免許」(身体検査・筆記試験・適性検査・技能試験)の全てに合格
- 11月から運転士見習2名が指導運転士の下で訓練、令和8年2月から一人乗務を開始

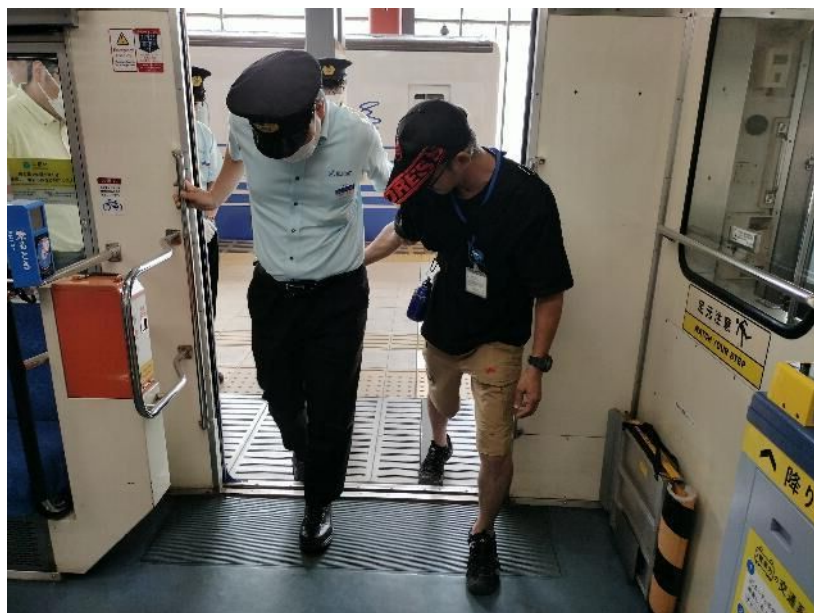
## □ 鉄道係員の安全研修



- 管理・営業部門、技術部門、運転部門において安全の知識に関する確認
- 緊急的に列車を停止させるための対処訓練を実施

## □ 目の不自由な方へのサポート研修

- 令和7年4月現在で約20名の目の不自由な方がご利用
- お体の不自由な方が安心して利用していただけるよう、お声がけや見守りを励行
- 講師を招き、運転士・アテンダント、駅務員が駅構内の移動方法や電車への乗降方法について2度にわたり学習



## □ 運転技術に関する交流会(地域鉄道3者事業連携)



① 10月29日

ハピラインふくい鯖江駅～今庄駅間において試運転列車に乗車し、運転見学及びブレーキの取扱等に係る意見交換会を実施

② 11月14日

運行管理に係る従事員に対して福井地方気象台による「大雪に関する勉強会」を開催

③ 11月20日

日常の保守業務の技術力向上に向けた「土工等設備の維持管理」に関する講習会を開催

# 落石後の対応（中長期対策に向けての動き）

## 関係機関との協議

- 勝山市と福井県とともに落石対策に関して情報共有を行い、協力していくことを確認
- 8月26日、勝山市役所にて関係機関と第1回協議を行い、今後の予定などを確認  
（関係機関）勝山市農林課、福井県奥越農林総合事務所

## 法面調査の実施

- 法面調査を専門会社に発注し、危険個所の調査を実施
- 落石発生直後の学術経験者の調査結果および助言を基に、勝山永平寺線\_越前竹原駅～小舟渡駅および発坂駅～勝山駅間の法面を対象とした調査を実施中
- 現在は調査結果を基に分析・まとめを行っており年度内に関係機関に共有



ドローンにての測量



線路に隣接する法面を調査対象



転石調査



転石根入調査(比島部のみ)

# 人材確保の状況

## □ 新卒および中途採用の状況（過去5年） （ ）は高卒採用数で内数

		R 7	R 6	R 5	R 4	R 3
駅 務 員	新卒		3 (3)	5 (2)	1 (1)	1 (1)
	中途	3			2	1
技 術 員	新卒		3 (2)		1 (1)	
	中途				1	
アテンダント	新卒		2 (2)	1 (1)		1 (1)
	中途			2	1	1
そ の 他 (管理・営業)	新卒			1 (0)		
	中途		2	1		2
合 計	新卒	0	8 (7)	7 (3)	2 (2)	2 (2)
	中途	3	2	3	4	4

※ R 7年度の新卒採用はゼロ。R 8は1名(高卒)の予定

※ 中途採用にも力点を置いて活動しているが、特に技術員の採用が難しい状況

## □ 運転士の充足状況（過去5年）

（ ）は60歳超社員で内数。人員数は3月末現在

	R 7	R 6	R 5	R 4	R 3
定員数	39	39	39	39	39
現員数	38(6)	37(4)	36(4)	39(2)	38(2)
うち 養成数	2	3	0	1	1

※ 毎年計画的に駅務または技術部社員の中から運転士を養成しており、今後も継続して育成していく。

※ R5年度は2名養成したものの本人より辞退の申出

## □ 採用活動

日程	イベント名	会場	主催者	参加者
7/22	ミニ説明会	ハローワーク	職業安定所	12名
8/2	鉄道3社合同就職説明会	市民プラザたけふ	鉄道協会	20名
8/23	鉄道3社見学バスツアー	鉄道3社	鉄道協会	15名
9/3	就職説明会	春山合同庁舎	自衛隊	1名
10/4	ほくりく企業博	本多の森（石川）	北陸3県	3名
11/1	北陸3県合同移住フェア	交通会館（東京）	北陸3県	4名
11/11	企業説明会	福井工大	福井工大	5名
11/22	鉄道3社見学バスツアー	鉄道3社	鉄道協会	9名



8/2 鉄道3社合同就職説明会



8/23 鉄道3社見学バスツアー



11/11 福井工業大学企業説明会

# お客様サービス向上

## □ お客様サービス向上委員会の設置

- 北陸新幹線の開業以来、利用者数が過去最多となる中、今後さらに多様化するお客様に対し、より質の高いサービスを提供することを目的に委員会を設置
- 内容として、下記内容の社内ルールを制定
  - ・「駆け込み乗車の対応」
  - ・「勤務時間中のスマートフォン使用に関する取扱い」
- 今後は「接遇研修制度」ならびに「接遇模範制度」を創設し、継続的な取り組み行うとともに、インナーコミュニケーションの向上を図ることを目的に動画アプリを活用した社内報の運用も実施

## □ カスタマーハラスメント対策の実施

- 上記のお客様サービスの向上を図ることで、カスタマーハラスメントに対する社としての対応を推進
- 12月からHPにて公表

**STOP!**  
**かけこみ乗車!**

**Do not rush onto the train!**

ご乗車の際は、お時間に余裕をもって  
ホームで電車をお待ち下さい。

### かけこみ乗車防止キャンペーン

- ⚠ かけこみ乗車は、他のお客様と接触するなど思わぬ怪我につながります。
- ⚠ 閉じかけたドアに「カバン」や「かさ」をはさんでも、エレベーターのように自動では開きません。
- ⚠ 発車が遅れるなど、他のお客さまのご迷惑となります。

えちぜん鉄道

# その他

## □ 恐竜列車の状況

行き		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	平均乗車人数 (1便あたり)
恐竜列車	席数	450席	650席	450席	1100席	1450席	500席	450席	600席	5650席	47.5名
	乗車実績	439名	615名	432名	959名	1400名	494名	447名	585名	5371名	
	乗車率	97.6%	94.6%	96.0%	87.2%	96.6%	98.8%	99.3%	97.5%	95.1%	

帰り		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	平均乗車人数 (1便あたり)
恐竜列車	席数	500席	650席	450席	950席	1300席	500席	450席	600席	5400席	38.5名
	乗車実績	447名	556名	248名	564名	918名	439名	417名	565名	4154名	
	乗車率	89.4%	85.5%	55.1%	59.4%	70.6%	87.8%	92.7%	94.2%	76.9%	



## □ 観光誘客の展開

### ● 貸し切り列車の多様化

恐竜列車



運転体験



地酒列車



芸妓列車



- 恐竜列車 ～ 日本旅行(tabiwa)、JTB、読売旅行、近畿日本ツーリスト、他
- 運転体験 ～ 日本旅行、びゅうツーリズム&セールス
- 地酒列車 ～ 日本旅行、びゅうツーリズム&セールス、クラブツーリズム
- 芸妓列車 ～ 日本旅行、阪急交通社

新

- ガストロノミー企画(三国) ～ 日本旅行(富裕層) R7～
- インバウンド富裕層 ～ 日本旅行インバウンド事業部 R8～

## □ ICOCA導入後の状況および新規取り組み

- 券種ごとにおける利用割合（2025.12月末現在）

券種	現金・紙定期	ICOCA利用
普通乗車券	39.0%	61.0%
通学定期券	32.6%	67.4%
通勤定期券	49.5%	50.5%

- WEB定期券サービス(iCONPASS)の実施
  - ・窓口にお越しただかなくてもスマートフォンやパソコンから、オンラインで定期券が購入が可能
  - ・1枚のICOCAに最大5社までの定期券をまとめることが可能
- 紙(リライト)定期券からICOCAへの推進を実施
  - ・12月から定期乗車券のICOCAへの移行をHP、ポスター等で啓発

京福バス株式会社 福井鉄道株式会社 えちぜん鉄道株式会社

### バス・地域鉄道のICOCA定期券をオンラインで購入。窓口にはばず、スマホ・PCで完結。

ICOCA Web定期券サービス **iCONPASS** アイコンパス 導入開始!

スマホ・PCから手続き、窓口にはばず購入! **購入** | そのまま乗車! **利用**

- ICOCAの登録 ● 定期券の申込 ● 決済
- 登録したICOCAでご利用可能

どこでもスマホ・PCで簡単購入!

購入・更新手続きに関するご注意点

- ・必ず定期券の購入には、経路番号の検索のアップロードが必要となります。
- ・JR西日本、ハピラインふくいの定期券は本サービスでは購入できません。
- ・購入・更新されるICOCA定期券のご利用開始日は、定期券の種類により異なります。
- ・最長で翌日からご利用いただけます。
- ・手続可能な期間中は00~22:00となります。
- ・購入・更新手続きの詳細は各社のホームページをご覧ください。

組み合わせ利用もOK

各社の定期券1枚にまとめることができます

- 福井鉄道(緑連)
- 福井鉄道(バス)
- えちぜん鉄道
- 京福バス

ICOCA、iCONPASS、iCONPASSは、ICOCA Web定期券サービス、iCONPASS、iCONPASSの登録・決済・決済、Apple、Apple Pay、Apple Inc.の登録商標です。

## 国への要望の実施について

### 1 要望の経緯

えちぜん鉄道は、北陸新幹線県内開業の効果もあり、利用者数は増加傾向にあるものの、急激な物価上昇や電気料高騰、自然災害への対応等、より厳しい経営環境に置かれている。しかしながら、鉄道の安心・安全な運行に不可欠な車両関係の大規模修繕(車両検査・車両修繕)費用について、近年、国費が十分に補助されていない。

また、近年、全国的に自然災害が頻発しているが、鉄道が運休となった場合の代行バスの運行経費などは、国の補助制度の対象外となっている。

そのため、えちぜん鉄道活性化連携協議会及び福井鉄道福武線活性化連携協議会から国土交通省等に対して、要望を実施した。

### 2 要望日及び要望先

- ・令和7年7月23日 国土交通省中部運輸局
- ・令和7年7月29日 国土交通省、福井県選出国會議員

### 3 要望事項

- (1) 地域鉄道事業者の計画的な安全対策事業を推進するため、鉄道施設総合安全対策事業費補助について、十分な予算を確保し、確実に必要な支援を行うこと。
- (2) 自然災害が発生した場合の災害復旧に関する補助について、除雪や運行休止の際の代行バス経費などについても対象となるよう支援制度を拡充すること。



国土交通省中部運輸局



# えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画 主要施策進捗状況



## 車と比べても 『選ばれる移動手段』 になる



### 将来像を実現するための4つの目標

目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

# 令和6年度の目標達成状況（計画目標の指標）

評価指標	数値目標		
	計画策定時 (R3時点の直近数値)	令和6年度実績 ( ) : R5実績値	将来目標 (R8)
(指標1) 公共交通の利用者数	782 万人/年	741 万人/年 (704万人/年)	786 万人/年
(指標2) 相互乗り入れによる利用者数	157,998 人/年	155,359 人/年 (181,978 人/年)	158,000 人/年
(指標3) えちぜん鉄道利用者の満足度	70 %	- R8年度に調査・評価を実施	75 %
(指標4) 故障等部内原因による鉄道の 遅延障害件数	8 件/年	9 件/年 (8 件/年)	0 件/年
(指標5) 鉄道とバスが接続する主要拠 点駅周辺（半径500m）の人口 に全人口に占める割合	3.7 % 【駅周辺人口：15,519人/ 全人口：418,987人】	3.6 % 【駅周辺人口：14,480人/ 全人口：405,411人】 (3.7 %)	3.8 % 【駅周辺人口：15,500人/ 全人口：396,363人】
(指標6) 鉄道とバスが接続する主要拠 点駅周辺（半径100m圏域）の 生活利便施設の立地件数	42 施設以上	34 施設 (33 施設)	42 施設以上
(指標7) レンタサイクルの利用者数	13,647 人/年	29,452 人/年 (16,410 人/年)	14,000 人/年
(指標8) 企画列車の運行本数	38 本/年	251 本/年 (121 本/年)	126 本/年
(指標9) 鉄道を使った遠足利用者数	165 団体/年	118 団体/年 (96 団体/年)	165 団体/年

# 目標 1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

## No.1 駅施設の整備改善（トイレ整備、待合環境・付帯施設の整備 等）

【えちぜん鉄道】【あわら市】【福井県】

あわら湯のまち駅

バリアフリー化（スロープ整備）

R 8.3 完成予定



## No. 3 運賃支払いの効率化（キャッシュレス化、MaaSの導入）

【えちぜん鉄道】【福井鉄道】【京福バス】【福井県】

交通系ICカード ICoca WEB定期券サービス「COMPASS」を開始

えちぜん鉄道勝山永平寺線・三国芦原線、福井鉄道福武線、京福バスで10月15日から運用を開始

- ・窓口に並ばなくてもスマートフォン、パソコンで購入可能
- ・各社の定期を1枚にまとめることが可能



効果 オンラインでの購入やバスとのICカードの連携により、利用者の利便性向上につながる

## No. 9 身近な交通手段の確保

### 【永平寺町】

自動運転「ZEN drive」の運行  
 「永平寺参ろーど」にてレベル4自動運転  
 による移動サービスを開始  
 新しい映像サービス「MRライド」の運行

レベル	内容
1	アクセル、ブレーキ、ハンドルのいずれかを自動化
2	アクセル、ブレーキ、ハンドルを自動化
3	特定の条件下で自動運転、緊急時のみ人が操作
4	特定の条件下で完全自動運転化
5	完全な自動運転化

実績 (R7.4.1 ~ R7.12.30)

利用者数 948人

(R6.4.1 ~ R6.11.30 1,055人)

## ZEN drive 走行区域

運行区間 荒谷～志比(永平寺門前)間 約2km【約10分】

利用料金 大人 100円  
 中学生以下 50円



## No. 14 持続可能な運送サービスの提供

### 【永平寺町】

近助タクシーの運行  
 自家用有償旅客運送によるデマンド型  
 乗合タクシー

実績 (R7.4.1 ~ R7.12.31)

利用者数 7,234人

(R6.4.1 ~ R6.12.31 7,462人)

運行に携わる地元組織の「志比北振興連絡協議会」は、令和4年度ふるさとづくり大賞(総務大臣表彰)を受賞

### 近助タクシーのしくみ



効果 高齢者の外出促進、近所同士の交流活発化

## 目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

### No. 1 4 大規模災害への対応

【福井県】【沿線市町】

勝山永平寺線落石脱線事故への支援

復旧技術支援（R7.3）軌道整備、法面緊急対策工事への支援



復旧前



復旧後

車両状況



### No. 1 6 人材確保の取り組み

【えちぜん鉄道】【福井鉄道】【ハピラインふくい】

就職合同説明会開催（R7.8.2市民プラザたけふ）  
鉄道3社見学バスツアーの開催（R7.8.23、11.22開催）  
北陸3県合同移住フェア参加（R7.11.1）

【えちぜん鉄道】

各種企業説明会に参加（職業安定所・自衛隊・福井工大）



福井工大説明会

# 目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

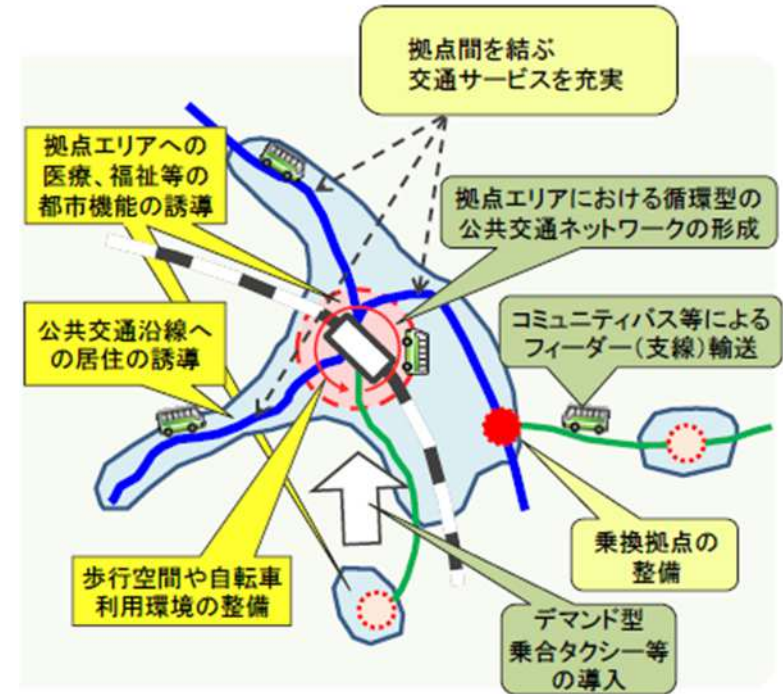
## No.19 駅周辺への都市機能集約

### 【沿線市町】

都市計画マスタープラン、立地適正化計画に基づき、駅や沿線への都市機能・居住の誘導を推進

一  
体  
化

- コンパクトなまちづくり
  - 公共交通沿線への居住の誘導
  - 生活サービス機能（福祉・医療・商業等）の誘導
- 公共交通ネットワークの再編
  - 拠点間を結ぶ交通サービスを充実
  - 乗継拠点の整備 等



### 【福井市】

都市計画マスタープラン、立地適正化計画を改定（R7.9） コンパクト・プラス・ネットワーク【出典：国土交通省資料】

## No.25 交流施設としての駅の活用

### 【えちぜん鉄道】

えちぜん鉄道福井駅・勝山駅にてカフェの出店

駅周辺の賑わい創出とお客様サービスの向上に寄与し、集客に繋げる

福井駅（R6.5.1～オープン）  
「The Grand coffee Stand Echizen Railway Fukui Sta」  
（出店：The Grand coffee）  
9：00～17：00  
コーヒー、カフェラテ等ドリンク各種



福井駅（The Grand coffee Stand）



勝山駅（えち鉄カフェ）

勝山駅（R6.5.9～オープン）  
「えち鉄カフェ」  
（出店：勝山市観光まちづくり（株））  
10：00～16：00  
コーヒー、カフェラテ等ドリンク各種（テイクアウト）

## No.27、28 企画列車の運行、観光列車の導入

【えちぜん鉄道】【福井県】

恐竜列車の運行

R6.3～復路便の運行開始

地酒列車、芸妓列車の運行

ガストロノミートレインの運行

子ども電車運転体験の実施

実績

恐竜列車	(R7.4～R7.12)		
運行本数	往復	245本	
利用者数	往路	5,371人	復路 4,154人
乗車率	往路	95.1%	復路 76.9%

12月は冬季運休期間

電車運転体験 (7/12、7/29)

参加者数 39人

## No.29 観光用コミュニティバスの運行

【勝山市】

観光用周遊バス「ダイナゴン」運行

- ・運行日：冬季期間を除く土日祝夏休み期間  
(年間105日運行)
- ・運賃：300円(大人)、200円(小学生)

恐竜博物館直通バス運行

- ・運行日：恐竜博物館開館日
- ・運賃：300円(大人)、200円(小学生)

実績( R7.12月末時点)

ダイナゴン利用者数

R1年度	1,569人
R2年度	743人
R3年度	952人
R4年度	1,937人
R5年度	1,665人
R6年度	3,776人
R7年度	3,749人

実績( R7.12月末時点)

恐竜博物館直通バス利用者数

R1年度	54,869人
R2年度	15,486人
R3年度	21,134人
R4年度	36,752人
R5年度	38,851人
R6年度	98,385人
R7年度	99,604人

# No.33、34 自転車を活かしたサービスの充実

## 【えちぜん鉄道】

### レンタサイクルの実施



### レンタサイクル実績

R1年度	6,396人	R2年度	4,350人
R3年度	4,260人	R4年度	5,602人
R5年度	5,301人	R6年度	5,188人
R7年度	4,671人		

(R7.12月末時点)

# No.36 県外観光客の利用促進

【えちぜん鉄道】【福井鉄道】【JR貨物】  
【ハピラインふくい】【福井県】

## 「鉄道ふくいフェスタ2025」開催(10.25、26)

- ・ステージプログラム(鉄道好き芸能人等)
- ・体験コーナー(駅ツアー、踏切非常停止ボタン等)
- ・鉄道・運輸機構コーナー(整備新幹線のパネル展示等)



実績 参加者数(全会場合計) 約9,600人

## No.43 自治体による利用促進

【福井市】

### ちょい乗り!電車・バス利用事業の実施

職員が県内の地域鉄道（福井鉄道、えちぜん鉄道、JR）やバス停付近の目的地へ出張する場合に、地域交通課にて乗車券を交付する。

【勝山市】 【永平寺町】

### 出張時にえちぜん鉄道等を利用

#### 効果

職員の公用車移動を公共交通機関に転換させることで、職員が率先して利用促進を図るとともに、利便性を知ってもらい、日常利用にもつなげる。

実績 福井市「ちょい乗り!電車・バス利用事業」

公共交通機関	主な目的地	利用回数（回）	
		R6	R7 （12月末時点）
えちぜん鉄道	福井大学、えちぜん鉄道本社	73	63
福井鉄道	フェニックスプラザ、商工会議所、福井大学	178	110
ハピラインふくい	自治研修所、各市役所	57	66
京福バス	自治研修所、市立図書館	57	43
合計		365	282

## No.47 通勤・通学でのえちぜん鉄道利用促進

【勝山市】 【永平寺町】

### 通勤、通学定期購入者への補助

実績【R7.4.1～R7.12.31】 ( )はR6

- ・勝山市
  - 通学定期補助 328件（377件）
  - 通勤定期補助 209件（193件）
  - 回数券補助 548件（621件）
  - ひとり親家庭高校生通学定期補助 15件（22件）
- ・永平寺町
  - 通学定期補助 1,535件（1,538件）

【福井県】等

### 広報ツール「電車通勤の楽園へ」をポスター等で広報

マイカー通勤から鉄道通勤への転換を促すため、転換による「お金と時間」にスポットを当てたユニークな画像を作成し、福井駅デジタルサイネージパネルや県HP上でPR

## No.49 公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進

【ふくい路面電車とまちづくりの会】

カーフリーデーふくい2025の開催

実績 (R7.9.21)

イベント参加者数 約300人

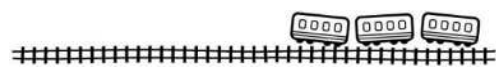
田原町駅前広場整備にて、バスの乗り方教室やふくチャリの試乗、オリジナルグッズの販売、地域鉄道を活用した小旅行等、公共交通の役割をPR。

公共交通や自転車の利用啓発月間「モビリティマンス2025」として、関連図書の特集コーナーを桜木図書館に設置。(R7.9.1~9.30)



のりのりマップの作成  
 県内のバス・鉄道の路線をまとめたマップを作成。福井市内の小学校や中学3年生に配付。

実績	
小学校 (各校5部)	270冊
中学校 (3年生各1部)	2,213冊



## No.53 サポート会の活動



えちてつサポーターズクラブ



# Supporter's Club

サポート会員を対象としたイベント電車の運行、えちぜん鉄道を利用したツアーの開催

会員数 ( R7.12月末時点)	
令和7年度	2,887名
令和6年度	3,170名

### 【勝山市】



電車運転体験 (24人参加)

### 【永平寺町】



ビア電 (53人参加)

### 【坂井市】



運転体験 (15人参加)

### 【あわら市】



菜の花種まき (6人参加)



大人の遠足 (40人参加)



ビア電 (20人参加)

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	4	5	6	7	8	令和7年度実績(12月末時点)
<b>A 利用環境の向上</b>										
1	駅施設の整備改善	トイレ整備 ホーム・構内の整備、改善 待合環境の整備 付帯施設の整備 駅舎の再整備等	新設、水洗化、洋式化 段差解消、手摺設置、点字ブロック 整備、バリアフリー化 待合室整備 ホーム屋根設置 自転車駐輪場、P&R駐車場 建て替え等大規模改修	えちぜん鉄道・ 沿線全市町						[えちぜん鉄道][あわら市][福井県] ○あわら湯のまち駅バリアフリー化(スロープ整備)実施(R8.3完了予定)
2	新しい生活様式への対応	感染対策の徹底	車両や待合施設の換気や消毒等	えちぜん鉄道・バス事業 者						[えちぜん鉄道][京福バス] 車両の換気や消毒を実施
3	運賃支払いの効率化	キャッシュレス化、MaaSの導入	キャッシュレス化、MaaSの導入に よる乗継や運賃支払いの効率化	えちぜん鉄道・ 福井県・沿線全市町・ バス事業者						[ふくいMaaS協議会] 各市町や各種イベントとコラボした新規デジタル企画切符の作成・販売 [えちぜん鉄道][福井鉄道][京福バス][福井県] ICOCA WEB定期券サービス「iCONPASS」を開始(R7.10.15)
4	ラッシュ時の多客対応	ロングシート車両の導入検討	既存車両の改修又は中古車両の 購入を検討	えちぜん鉄道・福井県						[えちぜん鉄道] 既存車両の改修・更新時に向けたロングシート車両の導入を検討
<b>B 駅やバス停へのアクセス向上</b>										
5	周辺道路等の改善	除雪・排雪体制の配備	P&R駐車場の除雪 並行道路の除雪 交差道路の除排雪の調整	沿線全市町・ 福井県・ えちぜん鉄道						[えちぜん鉄道] 関係機関との除雪連絡網整備 [福井市] えち鉄と協議した3ヶ所の踏切除雪協力 [勝山市] 地元建設業者に除雪を依頼 [あわら市] 踏切除雪の協力 [坂井市] えち鉄と協議した2ヶ所の踏切除雪協力 [永平寺町] 地元建設業者に除雪を依頼 [福井県] 踏切除雪の協力
6	web等での情報発信	公共交通情報の動的データ整備	Googleマップなど経路検索サイトの データ提供	バス事業者・ 沿線全市町・ 福井県						[京福バス] 新バスロケーションシステムの運用
7	フィーダー交通の整備・充実	コミュニティバスの機能確保とサービスの向上	ダイヤ調整等による接続改善、 ルート見直し	沿線全市町						[沿線全市町] ダイヤ調整等による接続改善を検討
8	サインの充実	三国駅への誘導、観光地への誘導サイン等の充実	誘導サイン、案内サイン、解説サイン 等を新幹線福井開業に向けて整備	坂井市						[坂井市] 誘導サイン等について整備(R4整備完了)
9	身近な交通手段の確保	自動運転車両等の研究	自動運転車両等の導入を見据えた 継続的な調査・研究	沿線全市町・福井県・バ ス事業者						[福井市] ○自動運転バスの導入に向けた検討に着手 [勝山市] ○越前市及び坂井市にて実施された自動運転車両の実証運行を視察 [永平寺町] 自動運転レベル4の「ZEN drive」の運行 新しい映像サービス「MRライド」の運行
10	持続可能な運送サービスの提供	従来の公共交通サービスに加え、多様な輸送資源 の活用検討	自家用有償旅客運送、福祉輸送、 スクールバス等の活用を検討	沿線全市町						[永平寺町] ○近助タクシーの運行
<b>C 交通機関の乗り継ぎ利便性向上</b>										
11	列車運行の改善	運行時間帯、JRダイヤ改正時における接続確保 所要時間の改善	始発・終発時刻の改善、 快速列車の運行等	えちぜん鉄道						

目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	4	5	6	7	8	令和6年度実績(12月末時点)
<b>D 安心・安全を支える鉄道施設づくり</b>										
12	早期の抜本的対策が必要な設備投資	設備投資	軌道整備、橋梁整備、法面整備、 電気・信号設備更新、除雪車更新	えちぜん鉄道・ 福井県						[えちぜん鉄道] 設備投資の実施 [福井県] 設備投資の実施に係る補助

13	鉄道施設の維持	維持修繕	線路・電路設備の維持修繕等	えちぜん鉄道・沿線全市町								【えちぜん鉄道】 線路・電路等維持修繕の実施 【沿線全市町】 線路・電路等維持修繕の実施に係る補助
14	大規模災害への対応	大規模災害時の経営支援	災害時の代行バス費用等の補助	えちぜん鉄道・沿線全市町								【福井県】 ○勝山永平寺線落石脱線事故の復旧技術支援(R7.3) 【沿線全市町】 ○勝山永平寺線落石脱線事故の軌道整備、法面緊急対策工事への支援
15	経営強化に向けた取組み	ハピラインふくいや福井鉄道との事業連携	資材等の共同調達、工事の一括発注、合同イベントの開催、グッズの共同販売	ハピラインふくい・福井鉄道・えちぜん鉄道								【ハピラインふくい】【福井鉄道】【えちぜん鉄道】 資材等の共同調達を実施 「鉄道ふくいフェスタ2025」を県内各駅で開催(10/25、26) 県外鉄道イベントへの参画 運転技術に関する交流会(合同研修)を実施(10/29、11/14) 鉄道技術講習会を開催(福井県鉄道協会主催)(11/20) 【福井鉄道】【えちぜん鉄道】 工事の一括発注を実施
16	鉄道事業における人材確保の取組み (バス、タクシー事業含む)	就職合同説明会、運転体験、採用説明会の実施、移住支援や就職支援の事業との連携	鉄道3社による就職合同説明会やバス・タクシー事業者による運転体験、採用説明会の実施等	ハピラインふくい・えちぜん鉄道・福井鉄道・バス、タクシー事業者・福井県・沿線全市町								【ハピラインふくい】【えちぜん鉄道】【福井鉄道】 各社PR動画のサイネージでの放映 就職合同説明会開催(R7.8.2市民プラザたけふ) 鉄道3社見学バスツアーの開催(R7.8.23、11.22開催) 北陸3県合同移住フェア参加(R7.11.1) 【えちぜん鉄道】 各種企業説明会に参加(職業安定所・自衛隊・福井工大) 【福井県】 鉄道、バス、タクシー運転士就職奨励金の実施
<b>E 信頼できる運行を支える鉄道施設づくり</b>												
17	大雪に備えた除雪体制の構築	県・市町と連携した除雪体制の構築	大雪時の優先除雪計画の策定	えちぜん鉄道・福井県・沿線全市町								【えちぜん鉄道】【福井県】【沿線全市町】 除雪会議を開催し、除雪体制等を協議
<b>F バス路線の維持</b>												
18	バス路線維持への行政支援	公共交通を維持するための支援	欠損額に対する補助	福井県・沿線全市町								【沿線全市町】 路線バスやコミュニティバス等の維持に必要な経費を支援

目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	4	5	6	7	8	令和6年度実績(12月末時点)		
<b>G 駅を核としたまちづくり</b>												
19	駅周辺への都市機能集約	駅周辺の各種都市機能の立地を促進	病院、学校、商業施設、金融機関等の立地促進	沿線全市町								【沿線全市町】 都市計画マスタープラン、立地適正化計画に駅周辺への都市機能集約を記載 【福井市】 ○都市計画マスタープラン、立地適正化計画を改定(R7.9)
20	駅周辺の土地利用誘導	駅周辺に良好な市街地形成を誘導	住宅地・事業用地の形成を誘導	沿線全市町								【沿線全市町】 都市計画マスタープラン、立地適正化計画に駅周辺の土地利用誘導を記載 【福井市】 ○都市計画マスタープラン、立地適正化計画を改定(R7.9)
21	既存公共施設の利活用推進	既存施設の活用	駅周辺に立地する公共施設の利用推進	沿線全市町・福井県								【沿線全市町】【福井県】 都市計画マスタープラン、立地適正化計画に既存公共施設の利活用推進を記載 【福井市】 ○都市計画マスタープラン、立地適正化計画を改定(R7.9)
22		既存施設の複合化	行政出先機関の統廃合時には、駅周辺にある施設への移転・集約を検討	沿線全市町・福井県								【沿線全市町】【福井県】 都市計画マスタープラン、立地適正化計画にサービス供給の拠点化を記載 【福井市】 ○都市計画マスタープラン、立地適正化計画を改定(R7.9)
23	サービス供給の拠点化	サービスセンター、児童館、保育園、高齢者日帰りサービス等	新設や移転時には駅周辺への配置を検討	沿線全市町・福井県								【沿線全市町】【福井県】 都市計画マスタープラン、立地適正化計画にサービス供給の拠点化を記載 【福井市】 ○都市計画マスタープラン、立地適正化計画を改定(R7.9)
24	駅周辺施設の整備	駅を含めたエリア全体での観光資源拡充	三国駅周辺における歩道等の整備	坂井市								

25	交流施設としての駅の活用	観光客や市民が喫茶を楽しみながら集える交流施設の運営 不動産開発による地域拠点づくり	勝山駅でのえち鉄カフェの運営 福大前西福井駅ビルの活用検討	えちぜん鉄道							【えちぜん鉄道】 えち鉄Café:勝山観光まちづくり(株)が運営(勝山駅) 福大前西福井駅ビルの活用検討(3F福井ユナイテッド交手中) 福井駅テナントとしてTheGrandCoffee匠味珈琲が営業
<b>H 観光・地域活性化施策との連携</b>											
26	地域色を活かした企画	広域連携による観光の推進 目的別情報発信 オリジナルグッズの作成・販売 沿線特産品の販売促進	自転車用観光地巡りマップ、 オリジナル乗車券、 駅周辺の新鮮野菜販売、 沿線特産品の交流販売・コラボメ ニュー開発	えちぜん鉄道・ 沿線全市町							【えちぜん鉄道】 沿線魅力発見ツアーの実施
27	企画列車の運行	企画列車の運行	ハロウィーン列車(実施中)等の運 行、観光地とのタイアップ企画、宿 泊施設・観光施設と連携したサービ ス企画	えちぜん鉄道・ 沿線全市町							【えちぜん鉄道】 県外旅行会社とタイアップした恐竜列車、地酒列車、芸妓列車、ガストロノミートレ インの運行実施 【えちぜん鉄道】【福井県】 ポケモン列車(カイルルートレインを運行)R6.7~
28		観光列車の導入	恐竜列車専用車両の導入	えちぜん鉄道・福井県							【えちぜん鉄道】【福井県】 恐竜列車の運行
29	観光用コミュニティバスの運行	土日祝に観光用コミュニティバスを運行	勝山駅と勝山市内を巡る観光用コ ミュニティバスの運行	勝山市							【勝山市】 観光周遊バス「ダイナゴン」を運行(冬期間を除く土日祝及び8月中ごろまでの夏 休み期間、年間105日運行) 勝山駅と県立恐竜博物館を結ぶ「恐竜博物館直通バス」を運行(毎日運行)
30	企画バスの運行	鉄道と連携した企画バスの運行	福井駅・あわら湯のまち駅・勝山駅 等の主要拠点駅を中心に観光地と タイアップした企画バスを運行	バス事業者・ えちぜん鉄道							【バス事業者】 ○あわら湯のまち駅と恐竜博物館を結ぶ「あわら恐竜号」を運行 ○福井駅と恐竜博物館を結ぶ「恐竜バス」を運行
31	大規模イベント等での公共交通 機関への誘導	祭事開催に合わせ、鉄道と連携した臨時バスの運 行	三国花火、フェニックス祭り等での 臨時バスや増便運行	バス事業者・ えちぜん鉄道・ 沿線全市町							【えちぜん鉄道】 三国祭り・三国花火大会・福井フェニックス花火での臨時便の運行 【永平寺町】 「永平寺町大燈籠ながし」、「永平寺町合併20周年記念音楽ふえす」会場向け シャトルバス運行(イベント主催者運行)
32	バス観光を中心としたフリーき っぷ	鉄道からバスに乗り換えて観光しやすいように、バス のフリーキップの利用促進	休日1日フリーキップ、海岸方面、東 尋坊方面への2日間フリーキップ	バス事業者							
33	自転車を活かしたサービスの充 実	レンタサイクル、シェアサイクルの利用拡大	レンタサイクル、シェアサイクルの ポート拡充	えちぜん鉄道・ 沿線全市町							【えちぜん鉄道】 レンタサイクルの適時更新
34		サイクルトレインの利用促進	自転車関連イベントとの タイアップ	えちぜん鉄道・ 沿線全市町・福井県							
35	シームレスな移動の確保	沿線住民の利用促進	ふくい嶺北連携中枢都市圏全体で のMaaSによる交通システムの構 築	沿線全市町・ えちぜん鉄道・ バス事業者							【ふくいMaaS協議会】【えちぜん鉄道】【福井鉄道】【京福バス】 29時間フリー「ふくふくきっぷ」を実施 【永平寺町】 ふくいMaaSのデジタル切符を利用した、「永平寺町大燈籠ながし」や「永平寺町合 併20周年記念音楽ふえす」との連携
36	県外観光客の利用促進	新幹線開業に伴う利用促進	地域と連携した観光企画の充実 利用促進イベントの実施	えちぜん鉄道・ 沿線全市町・福井県							【えちぜん鉄道】 県外旅行会社とタイアップした恐竜列車、地酒列車、芸妓列車、ガストロノミートレ インの運行実施 県外旅行会社とタイアップした運転体験企画の実施 ポケモン列車(カイルルートレインを運行)R6.7~ 【えちぜん鉄道】【福井ダイハツ】 勝山駅・三国港駅・福大前西福井駅、西長田ゆりの里駅でのカーシェアの実施 【ハピラインふくい】【えちぜん鉄道】【福井鉄道】【JR貨物】【福井県】【JR西日本】 「鉄道ふくいフェスタ2025」を県内各駅で開催(10/25、26)
<b>I 情報発信の連携・強化</b>											
37	駅・車内での観光情報発信	主要駅に観光案内窓口設置	土日限定等で開設	沿線全市町・ えちぜん鉄道							【あわら市】 あわら湯のまち駅舎内にあるあわら湯けむり創生塾「おしえる座あ」による観光 情報発信(常設) 【坂井市】 三国駅に観光案内所併設(常設)
38		アテンダントによる車内での観光案内	観光シーズンに実施	えちぜん鉄道							



48	利用促進イベントの開催	主に地元利用者を対象とした利用促進イベントの開催	各種ツアー列車の実施、電車の利用PR、沿線特産品の販売等	えちぜん鉄道・沿線全市町								【福井市(職員共済会)】 職員の福利厚生事業でえちぜん鉄道を利用した企画の実施 【永平寺町】 ピア電、熱燗電車の企画実施
49	公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進	公共交通とまちづくりへの意識啓発と利用促進	カーフリーデーやまちフェスなどの各種イベントに合わせた、公共交通とまちづくり事業の実施	市民団体・企業・えちぜん鉄道・バス事業者・沿線全市町・福井県								【ROBA】 ○カーフリーデーの実施、のりのりマップ作成(毎年改正版発行) 【福井市】 カーフリーデーふくい2025の共催・出展(9/21) 【京福バス】 ○カーフリーデーほか各種イベントへの参加 【えちぜん鉄道】 カーフリーデーでのステーションミュージック企画での会場(駅)提供 【福井県】 ○路線バスデジタルスタンプラリーの実施(R7.7~8)
50	免許返納制度の推進	65歳以上の住民を対象にした自動車免許返納制度の推進	免許返納者にコミュニティバスの無料乗車券等を交付	沿線全市町								【福井市】 えちぜん鉄道普通乗車券・フリーきっぷ3年間2割引パス等を配布 【勝山市】 市内コミュニティバス無料乗車券を交付 【あわら市】 65歳以上免許返納者にはあわら市デマンド交通乗合タクシー100円引き 75歳以上免許返納者にはあわら市デマンド交通乗合タクシー利用者の高齢者外出支援事業助成券を交付 【坂井市】 交通系ICカード(ICOCA)5,000円分(但し500円分デポジット含む)等の配布 【永平寺町】 免許返納者にえちぜん鉄道回数券を交付
51	商業施設、公共施設との連携による利用促進	えちぜん鉄道利用者に対する各種割引	えちぜん鉄道利用者に対する沿線の商業施設・公共施設やえちぜん鉄道の割引の検討	えちぜん鉄道・沿線全市町・民間事業者								
<b>K 地域住民との連携</b>												
52	サポーターズクラブの強化	入会の推進 協賛企業の拡大 会員による利用の拡大	会員向け情報発信の強化(DM 会報誌) 特典の拡大強化(セット券 協賛店サービス) 会員向け企画の実施	えちぜん鉄道(えちてつサポーターズクラブ) 沿線全市町								【えちぜん鉄道】【えちてつサポーターズクラブ】【沿線全市町】 入会促進、協賛企業の拡大、会員利用の拡大を実施] ○ICOCA・定期利用向けグリーン会員を導入
53	サポート会の活動	利用啓発活動 駅舎・沿線等の環境向上活動 乗って残す運動の推進	各種イベント・ツアーの実施	各サポート会・沿線全市町								【勝山市】【サポート会】 10/6に「電車運転体験&恐竜列車体験」を実施 【あわら市】【サポート会】 「大人の遠足(5月18日)」、「ピア電(8月2日)」、「運転体験(10月5日)」、「菜の花種蒔き(10月3日)」等を実施 【坂井市】【サポート会】 「電車運転体験イベント」を実施(11/15) 【永平寺町】【サポート会】 「サポート会総会(5月)」、「ピア電(8月)」、「熱燗電車(3月予定)」を開催
54	駅を活用した住民主体のまちづくり活動の促進	えちぜん鉄道・福井鉄道が相互乗入れする田原町駅において住民主体のまちづくり活動を展開する	田原町ミューズを活用した各種イベントの実施	福井市・沿線住民								【ROBA】【福井市】 カーフリーデーふくい2025の実施(9/21)
55	地域とのネットワークの構築	えちぜん鉄道の主催ツアーを活用した地域活性化	主催ツアー等での受け入れ先として依頼	えちぜん鉄道・沿線住民								【えちぜん鉄道】 沿線魅力発見ツアーの実施

目指すべき公共交通の将来像の指標				
評価指標	数値目標			定義及び内容
	現状(計画策定時)	令和6年度実績	将来目標(R8)	
(指標1) 公共交通の利用者数	782万人/年 (H30年度)	741万人/年	786万人/年	<b>定義:</b> えちぜん鉄道、路線バス、各市町のコミュニティバス(デマンドバス、デマンドタクシー、地域バスを含む)の利用者合計 <b>内容:</b> コロナウイルス感染症拡大前の平成30年度の利用者数までの増加を目指す

利用者数(人/年)	計画策定時 (H30年度)	令和6年度実績	将来目標	備考
えちぜん鉄道	3,699,553	3,919,316	3,740,000	
フィーダーバス	4,120,551	3,488,211	4,120,000	
京福バス	3,303,094	2,767,606		
えちぜん鉄道(デマンドバス)	17,697	9,670		
福井市(すまいるバス等)	476,050	391,632		
勝山市(コミュニティバス等)	135,955	207,809		
あわら市(ぐるっとバス等)	37,739	41,501		
坂井市(コミュニティバス等)	90,118	29,338		
永平寺町(コミュニティバス等)	34,049	16,708		
大野市(市営バス等)	25,849	23,947		
計	7,820,104	7,407,527	7,860,000	

目標1 地域の交通として利用しなくなる公共交通の実現				
評価指標	数値目標			定義及び内容
	現状	令和6年度実績	将来目標(R8)	
(指標2) 相互乗入れによる利用者数	157,998人/年 (H30年度)	155,359人/年	158,000人/年	<b>定義:</b> フェニックス田原町ラインの利用者数 <b>内容:</b> コロナウイルス感染症拡大前の平成30年度の利用者数までの増加を目指す
(指標3) えちぜん鉄道利用者の満足度	70% (R3年度)	(R8年度にアンケート調査・評価を行う)	75%	<b>定義:</b> 幹線交通軸としての利用者の満足度を把握 <b>内容:</b> 令和3年度実施のえちぜん鉄道利用者アンケート「問3総合的な満足度」の5%増を目指す

目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現				
評価指標	数値目標			定義及び内容
	現状	令和6年度実績	将来目標(R8)	
(指標4) 故障等部内原因による鉄道の遅延障害件数	8件/年 (R2年度)	9件/年	0件/年	<b>定義:</b> 故障等の部内原因による、えちぜん鉄道の遅延障害件数 <b>内容:</b> 遅延障害0件を目指す

目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現				
評価指標	数値目標			定義及び内容
	現状	令和6年度実績	将来目標(R8)	
(指標5) 鉄道とバスが接続する主要拠点駅周辺(半径500m圏域)の人口の全人口に占める割合	3.7% (駅周辺人口: 15,519人) (全人口: 418,987人) (R3年度)	3.6% (駅周辺人口: 14,480人) (全人口: 405,411人)	3.8% (駅周辺人口: 15,500人) (全人口: 396,363人)	<b>定義:</b> 駅周辺人口は、松岡駅、永平寺口駅、勝山駅、田原町駅、あわら湯のまち駅、三国駅の半径500m以内の人口 <b>内容:</b> 現状維持を目指す
(指標6) 鉄道とバスが接続する主要拠点駅周辺(半径100m圏域)の生活利便施設の立地件数	42施設以上 (R3年度)	34施設	42施設以上	<b>定義:</b> 松岡駅、永平寺口駅、勝山駅、田原町駅、あわら湯のまち駅、三国駅の半径100m以内に立地する生活利便施設の合計 <b>内容:</b> 現状維持を目指す
(指標7) レンタサイクルの利用者数	13,647人/年 (R1年度)	29,452人/年	14,000人/年	<b>定義:</b> ふくチャリ、えちぜん鉄道レンタサイクル、ゆめおーれ勝山、細呂木ふれあいセンター「らくーざ」、三国湊レンタサイクルまち流し号の利用者数の合計 <b>内容:</b> 北陸新幹線開業による利用者増を見込んで令和元年度の値を目指す
(指標8) 企画列車の運行本数	38本/年 (H30年度)	251本/年	126本/年	<b>定義:</b> えちぜん鉄道が企画運行する列車の運行本数 <b>内容:</b> 北陸新幹線開業による交流人口の増加を見込み、運行本数の大幅増加を目指す

目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現				
評価指標	数値目標			定義及び内容
	現状	令和6年度実績	将来目標(R8)	
(指標9) 鉄道を使った遠足利用者数	165団体/年 (H30年度)	118団体/年	165団体/年	<b>定義:</b> 中学生以下の児童生徒の遠足利用の団体数 <b>内容:</b> 児童生徒数の減少においても積極的な利用促進を行い、平成30年度の値までの増加を目指す

## 次期支援スキーム、地域公共交通計画等の策定について(案)

## (1) 次期支援スキームについて

## 現行支援スキーム

期間：令和4年度～令和8年度

支援：社会資本の維持に必要な経費(維持修繕費、災害費)：沿線市町

安全な鉄道運行に必要な設備投資：県

鉄道運行に必要な資産取得：県

## 次期支援スキームの内容

- ・期間、支援内容等について、えちぜん鉄道、県、沿線市町による協議を行い、令和8年度に決定(下準備となる協議は、令和7年度より行う)
- ・現行支援スキームを踏まえ、国庫補助金等を有効に活用しつつ、適切な支援を行う予定

## (2) 地域公共交通計画等の策定について

## 現行計画

名称：えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画

期間：令和4年度～令和8年度

## 地域公共交通計画

- ・内容について、令和8年度に策定部会を立ち上げ策定する
- ・計画期間は、鉄道事業再構築実施計画と併せて10年間とする

## 鉄道事業再構築実施計画

- ・地域公共交通計画の策定部会にて検討する
- ・利用促進策について、勉強会を立ち上げ検討する

令和8年度

【次期スキーム】	○えち鉄・県・沿線市町による協議 令和9年度予算計上時期まで	連携協にて報告
【地域公共交通計画】	○部会による内容検討 ・部会(三寺座長)：3回程度 ・構成メンバー：えち鉄、国、県、沿線市町	連携協にて承認
【鉄道事業再構築実施計画】	○同上	連携協にて承認

## 鉄道事業再構築事業について

## ○ 概要

- ・大量輸送機関としての鉄道の特性を活かした運送サービスの維持が困難である状況にある路線の鉄道事業の維持を図るため、地方公共団体等の支援を受けつつ、「上下分離」等の事業構造の変更を行うとともに、利用者の利便性を確保する事業

地方公共団体を中心に、地域が連携・協働して一体となって鉄道を支える事業

## ○ 認定を受けるメリット

法令上の手続きの簡素化

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業の補助金採択を優先


鉄道軌道安全輸送設備等整備事業の補助率を嵩上げ

税制特例措置の拡充

社会資本整備総合交付金を活用した場合、鉄道施設等のインフラ整備に対する国の地方公共団体への支援

## ○ えちぜん鉄道においては・・・

今後、鉄道施設等の更新を計画的に進め、併せて、鉄道利用者の利便性向上に関する事業を展開し、旅客鉄道事業による輸送の維持を図る必要がある

- 
- 地域公共交通計画の策定に併せ、えちぜん鉄道及び県・沿線市町が利用者の利便確保に関する実施計画「鉄道事業再構築実施計画」を策定
  - 策定した鉄道事業再構築実施計画の認定を受けて、えちぜん鉄道及び県・沿線市町が国土交通省からの支援を受けつつ、事業を進めていく

地域公共交通計画・鉄道事業再構築実施計画

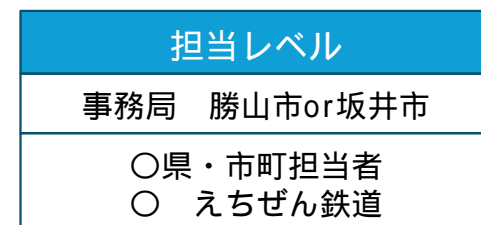
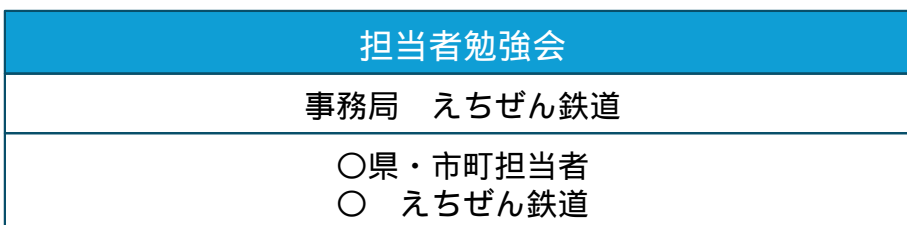
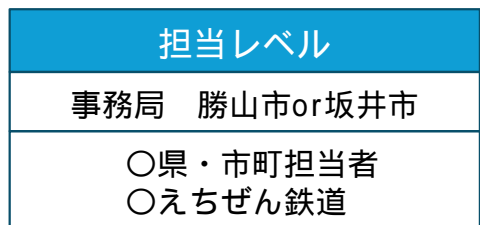
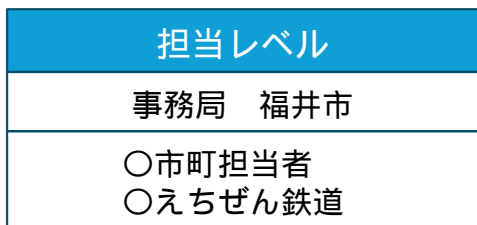
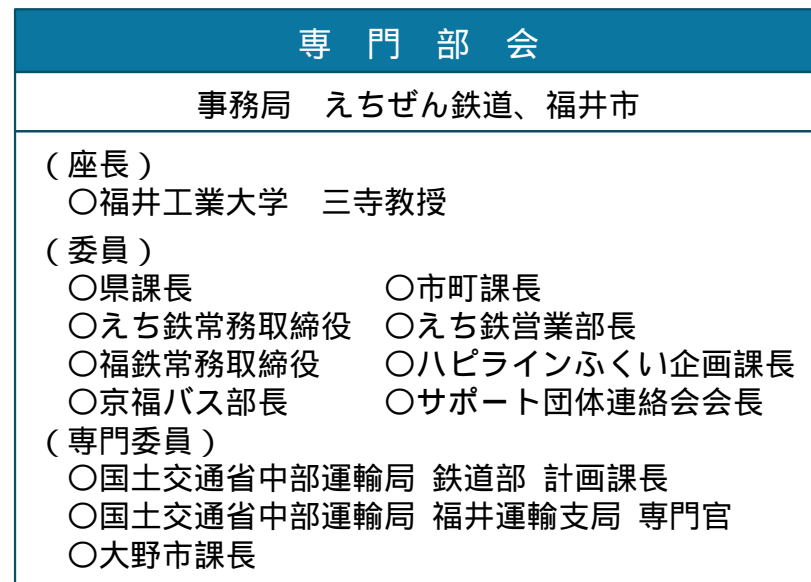
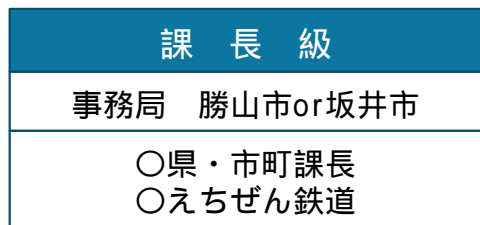
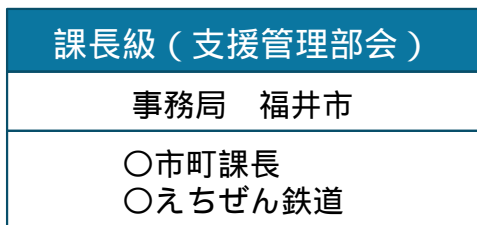
【事務局（福井市）説明】



経営分析、支援スキーム等

設備投資計画、支援スキーム等

地域公共交通計画（案） 鉄道事業再構築実施計画（案）



## [ 次期支援スキームの検討スケジュール ](案)

R7	8~	勉強会の開催、国土交通省中部運輸局に相談(県、市町、えち鉄出席)
	10	支援管理部会の開催(市町、えち鉄出席)
R8	2	<u>連携協議会(支援スキーム、地域公共交通計画、鉄道事業再構築実施計画の策定について、検討していく方針を確認)</u>
	2~	勉強会を適宜開催
	4	計画策定に関する業務委託
	6	設備投資計画(案)の取りまとめ
	7~	<u>連携協議会作業部会を適宜開催(3回程度)</u> <u>(現状・課題、成果指標、利用促進策等について協議)</u>
		支援スキームに関する予算協議開始
	9~	国土交通省中部運輸局と適宜協議
	10	支援スキーム(案)の取りまとめ
12	議会(支援スキーム(案)説明)	
	地域公共交通計画(案)パブリックコメント	
R9	1	<u>連携協議会(地域公共交通計画(案)、鉄道事業再構築実施計画(案)の取りまとめ)</u>
	2	議会(R9当初予算)
	3	地域公共交通計画(案)、鉄道事業再構築実施計画(案)国提出

## えちぜん鉄道活性化連携協議会規約の改正について

### （１）改正理由

以下の理由により規約を一部改正する。

- ・ 鉄道事業再構築実施計画の策定及び再構築事業の実施にあたり、地域公共交通計画に関係自治体全部の参画及び記載が必要となったため。
- ・ 別表 1 の協議会を構成する委員について、最新の法令に併せるため。

### （２）改正箇所

下記赤字修正箇所のとおり

#### えちぜん鉄道活性化連携協議会規約（改正後）

##### （目的）

第 1 条 えちぜん鉄道活性化連携協議会（以下「協議会」という。）は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号。以下「法」という。）第 6 条第 1 項の規定に基づき、地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）の作成に関する協議及び交通計画の実施に係る連絡調整を行うため設置する。

##### （事務所）

第 2 条 協議会は、事務所を福井県福井市大手 3 丁目 10 番 1 号福井市役所庁舎内に置く。

##### （事業）

第 3 条 協議会は、第 1 条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 交通計画の策定及び変更の協議に関すること。
- (2) 交通計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (3) 交通計画に位置づけられた事業の実施に関すること。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要なこと。

##### （組織）

第 4 条 協議会は、別表 1 に掲げる委員及び専門委員をもって組織する。

##### （役員の定数及び選任）

第 5 条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1 人
  - (2) 副会長 1 人
  - (3) 監事 2 人
- 2 会長は、勝山市長をもって充てる。
  - 3 副会長は福井市長をもって充てる。
  - 4 監事は、委員の中からこれを選任する。

##### （役員の職務）

第 6 条 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長の職務を代理する。

3 監事は、協議会の会計を監査する。

(委員の任期)

第7条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は再任することができる。

(会議)

第8条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて、会長が招集する。

2 会議に座長を置き、会議の議長となる。

3 座長は、会長が委員の中からこれを指名する。

4 座長が会議に出席できないときは、あらかじめ座長から指名された者が議長に当たる。

5 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

6 委員は、やむを得ない理由により会議を欠席する場合、代理の者を出席させることができることとし、あらかじめ会長に代理の者の氏名等を報告することにより、その代理の者の出席をもって当該委員の出席とみなす。

7 会議の議決は、出席委員の3分の2以上で決する。

8 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

9 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

10 前9項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議結果の尊重義務)

第9条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(幹事会・部会)

第10条 協議会には、必要に応じ幹事会、部会等を置くことができる。

(事務局)

第11条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、福井市都市政策部地域交通課に置く。

3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第12条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(財産の取得及び移管)

第13条 協議会は、幹線鉄道等活性化事業費補助を受けて実施する事業(以下「補助事業」という。)により取得した財産について、あらかじめ補助事業の開始前に、当該財産の管理を行う者及び補助事業に要する費用の負担を行う者と協議して、当該財産の移管について定めるものとする。

(財務に関する事項)

第14条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会が解散した場合の措置)

第15条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第16条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成22年10月4日から施行する。
- 2 この規約の一部改正は、平成24年6月15日から施行する。
- 3 この規約の一部改正は、平成27年3月23日から施行する。
- 4 この規約の一部改正は、平成28年4月1日から施行する。
- 5 この規約の一部改正は、令和3年4月1日から施行する。
- 6 この規約の一部改正は、令和6年4月1日から施行する。
- 7 この規約の一部改正は、令和8年2月17日から施行する。

別表1 (第4条関係)

1 委員

条 項	委 員
法第6条第2項第1号	勝山市長 福井市長 あわら市長 坂井市長 永平寺町長 福井県未来創造部 新幹線・交通まちづくり局長
法第6条第2項第2号	えちぜん鉄道株式会社 代表取締役社長
法第6条第2項第3号	福井県警察本部交通部交通規制課長
法第6条第2項第4号	えちぜん鉄道沿線サポート団体連絡会 会長 ふくい路面電車とまちづくりの会 会長 福井商工会議所 会頭 学識経験者

## 2 専門委員

国土交通省中部運輸局鉄道部長

国土交通省中部運輸局福井運輸支局長

大野市くらし環境部長

公益社団法人福井県バス協会 会長